

モラル	分類	操作	指 導 の 観 点	低学年	中学年	高学年	中学校
個人情報保護	D	情報の発信	・自分や友達の住所や電話番号などを簡単に人に教えてはいけないことがわかる。	○			
利用許諾	E	情報の発信	・友達の作品を使うときには、使ってもいいかを友達に聞くことができる。	○			
著作権	C	情報の収集	・友達の作品を勝手に使ってはいけないことが分かる。	○			
著作物保護	C	情報の収集	・自分の作品も友達の作品も大切に扱うことができる。	○			
セキュリティ	G	情報の活用	・ユーザー名やパスワードは鍵と同じ働きをする物である事を理解し、むやみに人に教えないようにする。	○	○		
心身の健康	J	情報の活用	・ゲームに長時間熱中すると、心身に悪影響があり、病気の原因になることを理解している。	○			
肖像権	F	情報の交信	・友達などの写真を撮るときには、相手に撮っても良いかどうかを聞かなければならないことが分かる。	○			
情報の信憑性	A	情報の発信	・電子メールや掲示板を利用するときには、受け手の立場や気持ちを考えた内容を発信するとともに、根拠のない誤った情報を発信しないという態度が身につけている。		○		
個人情報保護	D	情報の発信	・インターネットに自分や友達などの個人情報（名前・住所・電話番号など）を載せてむやみに他人に知らせてはいけないことがわかる。		○		
利用許諾	E	情報の発信	・他人の作品を利用するときには、許しを得なければならないことが分かる。		○		
情報の信憑性	A	情報の収集	・インターネットの情報には間違いもあり、すべてを信じたり、正しいと判断したりすることは危険であることを知っている。		○		
著作権	C	情報の収集	・他人の作品を勝手に利用することは著作権の侵害であることが分かる。		○	○	○
セキュリティ	G	情報の収集	・心当たりのないメールが届いた場合には、ウィルスなどを含んでいることを考え、開かないようにするなどの対処の仕方を身につけることができる。		○		
個人情報保護・セキュリ	D	情報の交信	・個人情報を聞き出そうとするアンケート調査やフィッシング詐欺などがあることを理解し、犯罪や被害に遭わないようにするとともに、事件に巻き込まれた場合の対処の仕方が身につけている。		○	○	
肖像権	F	情報の交信	・人物の写真を撮影する際には、相手の許可が必要であることを理解し、行動することができる。		○		
ネチケット	H	情報の交信	・メールの送信の仕方を知り、分かりやすいメールが書けるとともに、迷惑メールを受信したときの対処の仕方がわかる。		○		
ネチケット	H	情報の交信	・一度発信したメールは二度と回収ができないことがわかる。		○		
不正アクセス	I	情報の活用	・他人のIDやパスワードを使ってその人になりすまし、誤った情報をわざと発信したり物品を購入したりする場面があることを知るとともに、そのようなことに会った際の対処の仕方を身につけることができる。		○		
心身の健康	J	情報の活用	・ネットワークゲームに熱中するあまり、心身に重大な影響を受けることがあり、病気の原因になっていることを理解している。		○	○	○

モラル	分類	操作	指 導 の 観 点	低学年	中学年	高学年	中学校
個人情報保護	D	情報の発信	・個人情報自体の価値や重要性に気づかせ、他人の個人情報を公開しないことはもちろん、自分の個人情報にも慎重に対処することができる。			○	○
利用許諾	E	情報の発信	・ホームページなどで他人の著作物を利用するときには、許諾が必要であり、利用する際にも、文章や画像の出典を明らかにするなどのルールがあることがわかり、適切な行動をとることができる。			○	
セキュリティ	G	情報の発信	・チェーンメールについて知り、チェーンメールが無益でコンピュータに負担をかける無用な物だと言うことを理解し、いかなる内容であっても絶対に返信しない態度を身につける。			○	○
情報の信憑性	A	情報の収集	・インターネットには多くの有益な情報があるが、中には間違った情報が公開されている場合もあることを知り、情報を利用する際には十分確かめて利用しなければならないことを理解して利用することができる。			○	○
有害情報回避	B	情報の収集	・自分にとって必要のない情報や危険な情報に出会ったら、主体的に避けようとする態度を身につける。			○	○
有害情報回避	B	情報の収集	・ウェブサイトの中には、子どもに有害なものが多いことを知り、そのようなサイトに出会ったときの対処の仕方について身につけることができる。			○	
ネチケット	H	情報の交信	・掲示板などで意見交換をする際に守るべきマナーを理解し、コンピュータの向こうにいる相手の気持ちに配慮しながら意見交換をすることができる。			○	
個人情報保護	D	情報の活用	・他人や自分の情報をネット上に公開すると手紙や落書きと違い、一瞬にして世界中に広がり、一旦発信した情報は決して取り消すことができないことを理解し、重大なプライバシーの侵害であることが分かる。			○	○
不正アクセス	I	情報の活用	・IDやパスワードは家の鍵と同じ働きをする物であることを理解し、パスワードの管理には細心の注意を払わなければならないことを理解している。			○	○
個人情報保護	D	情報の活用	・個人情報の重要性を知り、インターネット上で公開されると様々な問題が起きることを理解する。			○	
個人情報保護	D	情報の発信	・個人情報の悪用から生じる被害等を知り、被害にあわないように心がけるとともに、被害にあったときに適切な対処ができる。				○
著作権	C	情報の発信	・情報の発信の際には、著作権の侵害のおそれがないかどうかを常に留意することができる。				○
利用許諾	E	情報の発信	・他人の作品を利用するときには、許諾を得て利用しなければならないことが理解できる。				○
ネチケット	H	情報の交信	・ネットワーク利用における軽はずみな言動が、不特定多数の人に不快感を与えることがわかる。				○
ネチケット	H	情報の交信	・言葉が持つ影響の大きさを理解し、相手に対する配慮ある言動を心がけることができる。				○
ネチケット	H	情報の交信	・電子メールの正しい使い方が理解できる。				○
システム被害	K	情報の活用	・ネットワークを利用する際には、十分なウイルス対策を講じる必要があることがわかる。				○